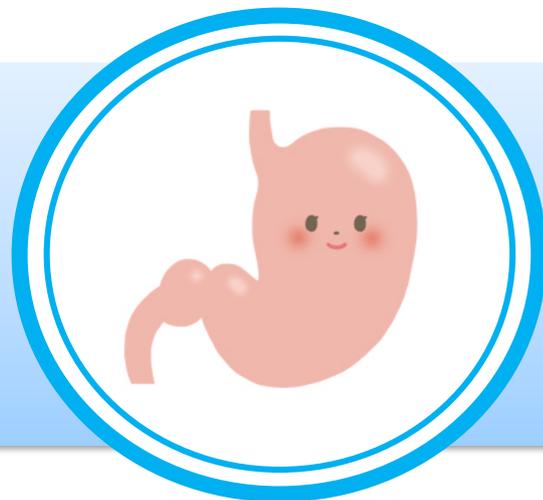


ABC検診 始めました



◆ABC検診ってなに？

胃がんリスク層別化検査（ABC検診）は、「ピロリ菌感染の有無を調べる検査」と「胃粘膜の萎縮度を調べる検査」を組み合わせて胃がんになるリスクを判定する検査です。

POINT



※但し、次の方はABC検診に適しません。

胃の病気の治療中の方、胃切除後の方、胃酸を抑える薬を服用中の方、腎不全の方、ピロリ菌の除菌治療を受けた方

検査方法

採血による血清を用いた検査

検査料金

- 胃検査併用の場合…3,850円（税込）
- やむを得ず、胃画像検査が実施できない場合…6,600円（税込）

- ▶ こちらの検査はオプション項目となります。
ご希望の方は、受診日3日前までにお電話にて追加検査のご連絡をお願いします。
- ▶ 健診内容により追加できない場合もあります。

**胃がんを診断する
検査ではありません**



👉 裏面に続く

◆ABC 検診とは…

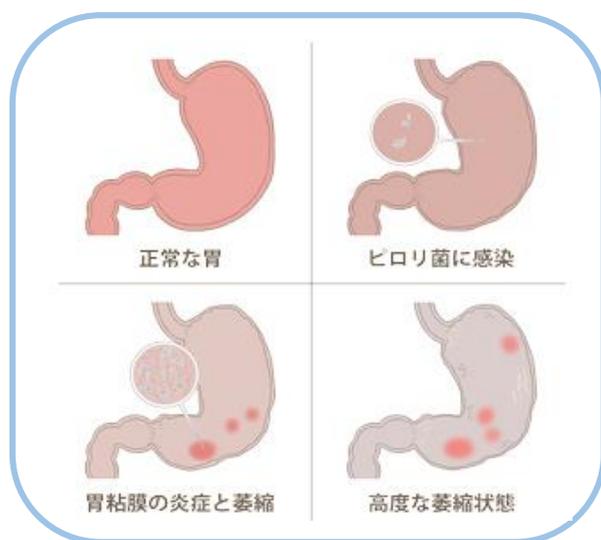
胃がんの主な原因はヘリコバクターピロリ（ピロリ菌）の感染であり、ピロリ菌感染が長く続くことで、慢性の萎縮性胃炎が生じ、胃の粘膜が胃がんにかかりやすい状態になる事が知られています。血液検査などで胃がんにかかるリスクを予測して分類することが胃がんリスク評価です。血液によるリスク評価の代表的なものとして、血清抗体価でピロリ菌の感染状態を判断し、胃粘膜の萎縮の程度をペプシノゲン法で判断し、その組み合わせで胃がんリスクをグループ分類する胃がんリスク評価（「ABC 検診」と称されています。）があります。

ABC 検診では胃がんにかかっているかどうかの診断は出来ません。胃がんになりやすい状態かどうかを判定します。胃がんの診断には、画像診断である胃内視鏡検査（胃カメラ）か胃 X 線検査（バリウム検査）が必要です。

ABC 検診で「健康な胃」と判定されても、実際には以前にピロリ菌に感染していた人や、あるいは現在もピロリ菌感染が継続している人が一部含まれてしまいます。実際に、胃がんの患者さんの胃がんリスク評価の結果では、胃がんの 10%前後が「健康な胃」に分類されたという報告があります。したがって、血液検査による ABC 検診（胃がんリスク検査）だけでなく、胃内視鏡検査か胃 X 線検査などの画像検査（胃がん検診）を受けることを推奨します。

胃内視鏡検査や胃 X 線検査が苦手なため、代わりに採血するだけで簡単に胃がん検診が受けられると考え、ABC 検診のみを受けようとするのはお勧めできません。

国が推奨している胃 X 線検査（バリウム検査）は、死亡率を低下させるための胃がん発見が証明されています。しかしながら、胃 X 線検査のみでの胃がん発見率は 0.17%に留まり、胃 X 線検査と ABC 検診を併用すると胃がん発見率が 0.60%に上昇したという報告もあります。



この機会にぜひ、胃がん検診と ABC 検診を併用してみたいはいかがでしょうか？

< ご不明点等がありましたら、当健康管理センターまでご連絡ください。 >

JA愛知厚生連 海南病院 健康管理センター

TEL <0567>55-7629 (直通)